

特定非営利活動法人 子ども健康フォーラム
心身障害児総合医療療育センター
社会福祉法人 中央共同募金会
マニユライフ生命保険株式会社

—第 6 期子どもの療養環境改善のための特別支援プロジェクト—
女子美術大学によるヒーリング・アートを導入した
『マニユライフわくわくる一む』が都内に完成
心身障害児総合医療療育センター（東京都）に 10 月 19 日（土）よりオープン

心身障害児総合医療療育センター（センター所長：君塚葵）は、NPO 法人「子ども健康フォーラム」（理事長：長嶋 正實）の支援協力のもと、療養中の小児患者を対象にした本格的な新プレイルーム『マニユライフわくわくる一む』が完成を迎え、10 月 19 日（土）より正式にオープンの運びとなりました。当日は、心身障害児総合医療療育センター所長をはじめとした病院関係者をはじめ、NPO 法人「子ども健康フォーラム」、マニユライフ生命保険株式会社、社会福祉法人中央共同募金会の関係団体の代表者が出席し、贈呈式および内覧会が行われました。

『マニユライフわくわくる一む』開設特別支援プロジェクトは、NPO 法人「子ども健康フォーラム」が取り組む子どもの療養環境改善活動の一環として、同 NPO 法人がマニユライフ生命保険株式会社の特別協賛と社会福祉法人中央共同募金会の協力を得て 2008 年より開始した活動です。療養中の子どもたちの心のケアのための中核施設としての“プレイルーム”の意義を啓発し、活用の充実と質的向上を促進するモデル・プレイルームの設置と運営を支援しています。第 6 期となる今回は、全国で 9 番目の『マニユライフわくわくる一む』で、東京では初めての設置となります。

療養中の子どもたちをとりまく環境は、治療のストレス軽減のため、医療環境から離れた家庭を思い起こさせるようなリラックスできる空間作りや、他児との関わり合いの中で社会性を育む機会の提供など“療養環境の充実”が不可欠といわれています。心身障害児総合医療療育センターの君塚センター所長は次の様に述べています。「子どもたちも綺麗になったプレイルームを喜んでおり、ここで遊んだ記憶は、子どもたちの思い出のひとつになると思います。」わくわくる一むの設置について、マニユライフ生命のギャビン・ロビンソン代表執行役社長兼 CEO は次の様に述べています。「このようなプレイルームが日本に広がることを望んでおり、子どもたちが病気のストレスを発散させ、楽しく遊べることを願っています。」



オープンを記念しテープカットを実施
左から、中央共同募金会 常務理事 中島謙次、NPO 法人子ども健康フォーラム 理事長 長嶋正實、心身障害児総合医療療育センター センター所長 君塚葵、マニユライフ生命保険(株) 代表執行役社長兼 CEO ギャビン・ロビンソン



テープカット後の内覧会では、実際に入院している患児とその親御さんがプレイルームを体験

■心身障害児総合医療療育センター『マニユライフわくわくる一む』 概要

心身障害児総合医療療育センター

住所：〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-1-10

心身障害児総合医療療育センターは、心身に障がいをもった子どものための総合的な医療療育相談機関で、整肢療護園、むらさき愛育園、外来療育部門、研修・研究部門からなり、敷地内には特別支援学校もあります。



同施設の『マニユライフわくわくる一む』は、「大きな木のある小茂根の丘」をコンセプトに、年齢や障がいの程度に関係なく子どもたちが楽しめる環境を目指しました。中央の独立柱を大木に見立てて、かつてこの丘にいた動物たちによって周囲の遊び場や処置室へ誘導されていきます。元のプレイルームは病室や食堂に囲まれた場所にありました。わくわくる一むは落ち着いて遊びこめる位置に変更し、棚に囲まれたコーナーとして食堂とともに一体的な計画としています。感覚刺激系玩具やボタンスイッチを使って自分で操作して遊べる玩具を充実させ、移動式スヌーズレンや壁画を使って遊ぶことのできる玩具も設置しています。さらに、思春期の子どもたちのための活動スペースをロールカーテンで仕切れるようにし、テレビやゲーム、図書・音楽など、子どもたちのニーズに応じた活動が展開できる工夫をしています。

今回の『マニユライフわくわくる一む』の特徴の1つに壁面装飾が挙げられます。同施設の壁画装飾は、女子美術大学のヒーリング・アートプロジェクトに携わる学生が担当しました。病棟の子どもたちや家族・スタッフのよりどころとなるように、明るく象徴的な空間「小茂根の丘」をイメージした壁面装飾に仕上がっています。車椅子の子どもも多いので、壁面上部や天井に装飾を行ない自然と目に入るように工夫をしています。鹿や狸、ムササビなどの動物たちが、遊びのコーナーや処置のコーナーへと子ども達を誘導していきます。絵のところどころに隠れる動物たちが、驚きや発見の楽しさを与えてくれます。

【女子美術大学ヒーリング・アートプロジェクトの取組】

女子美術大学では、1992年からヒーリング・アート（癒しの美術）による医療・福祉施設の環境改善の取組を大学の教育研究の一環として継続的に実施してきました。医療・福祉施設には、利用者の精神的なケアを考えたアートが必要であると感じ、少しでもそれが空間の環境改善に役立てられないかといった趣旨で、これまでに首都圏を中心に35箇所の病院や介護老人保健施設にヒーリング・アート作品を設置してきました。



小茂根の丘をイメージしたプレイコーナー



1つ1つにこだわった玩具



女子美術大学の学生が担当した壁面装飾

<ご参考資料>

『マニユライフわくわくる一む』プロジェクトとは

カナダをはじめとする欧米の小児医療先進国に比べても遜色ない施設、運営方式を取り入れた、国内で最も先進的な小児専門病院のひとつとして知られている愛知県立あいち小児保健医療総合センター（愛知県大府市）にて現在運用中のプレイルーム「わくわくる一む」をモデルとして、新規に導入を希望する全国の小児医療施設に、マニユライフ生命からの寄付金をもとに、理想的なプレイルーム『マニユライフわくわくる一む』の設置・運営を支援するものです。



あいち小児保健医療総合センター
「わくわくる一む」

【現在設置されている全国の『マニユライフわくわくる一む』】

- ・近畿大学医学部附属病院（大阪府）：病室を改修した病棟プレイルーム（2008年）
- ・豊田厚生病院（愛知県）：短期入院用と中長期入院用の2つの病棟プレイルーム（2008年）
- ・大阪市立総合医療センター（大阪府）：思春期コーナーがある病棟プレイルーム（2009年）
- ・中部ろうさい病院（愛知県）：病棟プレイルーム・処置室に連動した外来プレイコーナー（2009年）
- ・旭川厚生病院（北海道）：乳幼児コーナーを設けた病棟プレイルーム（2010年）
- ・大阪府立母子保健総合医療センター（大阪府）：国内初の青少年向けプレイルーム（2010年）
- ・滋賀県立小児保健医療センター（滋賀県）：重症心身障害児向け病棟プレイルーム（2011年）
- ・公益財団法人星総合病院（福島県）：東北地方初 本格的プレイルーム（2013年）

心身障害児総合医療療育センターについて

心身に障がいを持った子どものための総合的な医療療育相談機関で、整肢療護園、むらさき愛育園、外来療育部門、研修・研究部門からなり、敷地内には特別支援学校もあります。わくわくる一むを設置した整肢療護園は、障がいを持つ子どもの医療・療育を担う病院・児童福祉施設の機能を合わせ持つ施設で、年間800名程が入園します。先天性ないし後天性の障がいを心身に抱え、障がいの程度も様々です。

NPO「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児保健医療施設である「あいち小児保健医療総合センター」（愛知県大府市）をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。（ホームページアドレス <http://www.npo-cln.org/>）

社会福祉法人中央共同募金会について

社会福祉法人中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。また、寄付金の受入れおよび調整や、民間助成資金・公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHKとの共催による「NHK歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。お客様は、マニユライフが信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を提供することを期待されています。同社職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、数百万のお客様に経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、機関投資家のお客様には、資産運用サービスもご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2013年6月30日現在5,670億カナダドル（5,390億米ドル）となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャル（マニユライフ）として、米国においては主にジョン・ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニユライフ・ファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細はウェブサイト（www.manulife.com）をご覧ください。マニユライフ生命のウェブサイトは次の通りです。（www.manulife.co.jp）